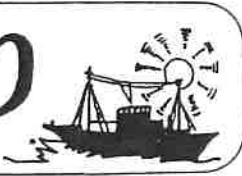


福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース



発行 第五福竜丸平和協会
〒136-0081 東京都江東区 夢の島3-2
都立第五福竜丸展示館内
電話 03-3521-8494

「ハーグ平和条約一九九九年」という市民運動
——二一世紀の平和と正義求めて——
ハーグ平和条約の第一回会議は、日本など二六か国が参加して、オランダのハーグで開かれました。そこで、国際紛争を平和的手段で解決すること、また戦争が起こった場合にも様々な規制が有ること、毒ガス使用の禁止などを定めました。今から一〇〇年前一八九九年のことです。第二回会議は一九〇七年、日本など四四か国が参加して開かれました。しかしこの定めは列強によって守られず、二度の世界大戦が起こされました。その結果、今世紀は、非戦闘員の悲惨な大量虐殺が続き、原爆さえも投下されました。

この第一回会議の一〇〇周年を記念して、第三回会議が、今年五月一七日以降、ハーグで開催されます。これは国連総会決議に基づいて、オランダ政府やロシア連邦政府などが主催する政府間会議です。これと並んで、市民社会運動やNGOなどが自主的に行う平和運動——キャンペーンと世界会議の準備——が進んでいます。この平和運

動を総称して、「ハーグ平和条約一九九九年」(通称・HAPP99)と読んでいます。日本でも、被団協など核兵器廃絶や軍縮を求める市民運動が、これに取り組んでいます。

いま、一つの文書が「イメール」(電子便)などで、地球上を駆け巡っています。「二一世紀の平和と正義を求めるアジェンダ(課題)」と題する文書です。この「アジェンダ」は、ハーグ平和条約の四本の「柱」を反映しています。すなわち、(1)軍縮及び人間の安全保障、(2)暴力的紛争の防止、解決及び変革、(3)国際人道法・国際人権法及びその制度、並びに(4)戦争の根本的原因と平和の文化です。

「ハーグ平和条約一九九九年」は、市民社会の役割を強調しています。市民社会は、冷戦後その勢いを増してきました。その成果は、例えば地雷の根絶条約を成立させたことに示されています。そのほか、小火器取引の削減、第三世界の債務の緩和、女性に対する暴力行為の禁止、核兵器の廃絶、少年兵の使用

浦田 賢治

「人間安全保障」を考える

三・一ビキニ事件記念集会
毎年、協会主催でおこなわれている「三・一ビキニ事件記念集会」が、二月六日午後八時より東京・本郷の学士会館で開かれました。今年の記念講演は、元国連大学副学長・現フェリス女学院大学教授の武者小路公秀氏。



3. 1ビキニ事件記念集会

武者小路教授は「安全保障を問う直す——人間の立場から——」と題し、「人間安全保障」という考え方を、最も安全を脅かされている人間の立場で、△グローバル経済と覇権的安全保障に対抗して、恐怖と欠乏のなかで安全を脅かされている人々の安心と安全を基準として、覇権国とその同盟諸国の軍事・経済政策を市民的監視のもとにおく反覇権的人間安全保障Vを目指す

討論では、マーシャル島民被災の問題や、国際・国内情勢に関連した発言、日本の現状についての論議などがかわされ、感銘深い集いとなりました。集会では、記念講演に先立ち川崎昭一郎協会会長が、主催者挨拶と報告をおこない、この一年間の協会の活動、とくに昨年の展示館改修・新装を期し、協会として力を入れている展示パネルの一

新や内容の充実について説明し、広くお願いした募金に多くの方から協力をいただいたことに謝意を述べました。展示が待たれていない第五福竜丸のエンジンは必要なら手が届き次第、修理が可能なことが報告されました。

二月末、マーシャル諸島共和国政府のベン・グラハム観光局長がスタッフと共に来館、第五福竜丸を見つめ、大きな感銘を受けたと語りました。

「ハーグ平和条約一九九九年」のキャンペーンは、三段階に及びます。①準備段階、②世界大会(今年五月一〜一五日、ハーグで開催)、③「課題」の実行です。今年四月までが、準備段階です。ここでは、市民社会が直面する主要な課題を明らかにする作業が続きます。

ですから、例えば法律家団体と市民たちが指摘したように、日本及びアジア太平洋における「平和と共生」の実現ということも、アジェンダの一つとなります。そして、来る世界大会には、世界中から何百もの団体、何千もの個人が集まります。ノーベル賞受賞者や主要組織の指導者、主要な活動家ばかりか、国連の事務総長も参加します。そこで採択された「アジェンダ(課題)」は、この大会のあと、ハーグ及びサンクトペテルブルグで開催される政府間会議に提出されます。また、国連総会にも提出されます。そればかりか、新しい千年の始まりに開催される広範な市民会議にも提出されることになっていきます。この「課題」を、確実に実行することが、第三段階の大きな仕事です。市民一人一人が持ち味を活かし、互いに力を合わせて取り組む、それに値する大きな仕事だと思えます。(早稲田大学教授、国際法法律家協会副会長)

戦争参加のシナリオ 『周辺事態法』にたちむかう 「戦争ってナンダ? 展」で新たなエネルギー

元山俊美

国会議事堂がいびつに映り、嘘と税金の固まりの黒塗りの車が走る、その間を周辺事態法で不安一杯の市民グループの女性数人、議員会館の中に消えて行った。今を象徴するかのよう風景でした。私は国会議事堂がどうも好きになれない、とにかく国会議事堂は利権の巣窟、邪悪の殿堂のように見えてならないのです。

周辺事態法がその伏魔殿で国民をよそに画策されています。売国奴という言葉は昔、大日本帝国時代、政治を批判する者に浴びせた言葉ですが、実に今の新ガイドライン・周辺事態法がその売国奴の法だと思ふのです。日本の領土をアメリカ軍の基地にする、しかも飛行場も病院もバスも鉄道もアメリカ軍の要求どおり使用する。戦争も拒否できない。『第五福竜丸保存運動史』の中で被爆者の見崎吉男さんは、核兵器の絶滅を願う国民運動とは裏腹に日本の政治が逆の方向に動いていったことを恨

み、使命感をもって核兵器絶滅という人類最大の課題にねばり強く取りこんでおられる人々の正義と情熱に深く敬意を表します」と述べられていました。が、その恨みの核兵器を積んだ軍艦の入港をフリー化する周辺事態法がまかり通ろうとしているのです。そうしないと安保が機能しないと言う政府。これで独立国家の主権がどこにありますか。これが売国行為でなくてなんでしょう。

日本国憲法は国の基盤でないというのか
小淵首相は五月三日、その周辺事態法を恐らく袱紗にでも包んでクリントン大統領に持って行くつもりでしょう。三月一二日から始まった周辺事態法案の特別委員会で、法案反対意見に発言が聞こえなくなるほど「売国奴」のヤジが浴びせられたそうです。言っていることもまるきりアベコベですが、恐ろしくなります。正にファシズムと選ぶことなき言動の暴力では

ないですか。先が見えます。例によって頭を見計らい強行する構えです。とにかく彼等は、一九五〇年の安保以来、自衛隊法、PKO法等、憲法の根幹に関わるものはすべて暴力で押しまくってきました。その後でいつも国会の「正常化」をやりました。ですから、安保も自衛隊も自衛隊の海外派遣も、みんな正規の国会の手続きで出来たものではありません。あなたはこれを合憲・合法の存在である行為と思いませんか。

新ガイドライン・周辺事態法を、憲法の枠内とか後方支援と言っています。本気で考えるなら誰にでもその嘘が分かります。九七年三月三十一日橋本首相は、安保体制は日本の国家そのものの存立の基盤である、と言いました。それは日本国憲法は国の基盤ではない、と言ったと同じじゃないですか。ガイドライン・周辺事態法を分かりやすく例えたら、日本がアメリカ合衆国の五十一番目の州になる、これです。

マフィア経済と言われる金融界の乱脈。利権と腐敗政治が造った借金が六〇〇兆円、なんと一人当たり五〇〇万円です。「資本主義

経済の破綻は軍事的需要によって突破する」というこれ又嫌な歴史ですが、遺憾ながら安保再定義・周辺事態法がこれに重なるので、これは大変です。なぜなら戦争を目的化するからです。戦争しないといけない。その戦争を「ならず者」規定でアメリカがいつでも仕掛ける。否応なしで日本は戦争に参加する。このシナリオが周辺事態法です。陽の目をみせたら決定的です。

実り豊かな「戦争ってナンダ? 展」
この緊迫した状況の下、国民はまことに静かです。ある青年は言います。「戦争で人が死ぬことが自分の遠くのように思える。周辺事態法、新ガイドラインで戦争を感じない」と。私はショックでした。これは重大だ。すべてが戦後の平和運動のせいではないにしても結果的に若者を傍観から無関心へ追いやったこの状況は追求されなくてはなりません。

戦争体験者が過去を語るからには、反戦平和の今日的課題に説得力を持たなくてはならない。それに欠けると若者は離れて行く、私はそう思います。またドンパチだけが戦争ではありません。戦争体



核のない世界へ、周辺事態法は戦争への道の展示

制から戦争。そして戦後。その全過程、それが戦争です。今度開いた「戦争ってナンダ? 展」(三月七日〜十三日・東京・中野区中野ZER0)はこうした現状、反戦・平和の諸問題に込めようとしたものです。

これまで取り組んだこと、思われることを展示し公開する。多くの人たちと一緒にあって見て聞いて追求し、検証するなかで闘うエネルギーを湧き立てよう、というものでした。

アンケートの中間集約では、良くわかった。連帯感を感じた。ユークな展示会だ、毎年やってほしい。皆さんの努力が感じられた。など好評でした。パネル造りでの皆さんの労が報われたものと思えます。やはり自分たちの「タコ壺」の中でいくら氣勢をあげても、自分も状況も変えることはできない。外の風に自分も当てる、そこでまた新しい風を創ることが出来るわけです。私ことですが心臓欠陥のポンコツの身、話の途中、つい「もう私は今のつげはこないのです」とハッパを掛ける。そのたびに、またじっ

として居られなくなる私です。街頭宣伝で訴えつづける
「皆さん! ガイドラインは五〇年前に逆もどりどころの騒ぎではありません。(…力が入る…)第一日本列島を米軍の基地にし、日本を守るなんてことがありませんか! 周辺事態法案に陽の目をみせたら、この道路に戦車が現れます。幼子の手を引く今の貴女の生活リズム、幼い子の笑みまで奪って行くのです。支持三〇%の小淵首相は国会を解散して国民に問おうとしません。横暴です。黙っていると支持しない七〇%、恐らく皆さんと私もそれを許すことになり

ます。黙っていたらそうなりま



区内の多数の団体が協力し、みんなで展示を準備

す、声を出しましょう。はっきり反対の声を、知ってる議員に、「首相に周辺事態法は止めて」と電話でもよい、葉書でもよい出して下さい、違法でも何でもないのです。(立ち止まって聞き、うなづく姿に救われる。嬉しいものだ) : 政府はだましています。今朝の新聞に、核ミサイルを積んだアメリカの軍艦が自由に日本の港に入る問題が載っています。…とんでもない、つぎは空からミサイルを招く暴挙です。これでああなたの生活、日本が守れると思いませんか。近所の友達と話しあってください。騙されたら大変です」 : 小林よしのり『戦争論』に「こと周辺事態日本有事は戦争を知らない者を「戦争世代」に巻き込んで行く妖怪です。小林よしのりの『戦争論』を買った大学生は言いました。どんな切り口で戦争論を書いているか見なかったと。それだけで七〇万部、なんでしょう。戦争を知らない小林が戦争を美化する。そこに職業的虚言者の正体を知り、それが現状に飽き足らない若者を挑発して周辺事態法のお先棒担ぎをして

いることを知ります。ところで

(新ガイドライン) 反対 中野代表